

大田市交通安全協会の活動状況

『春の全国交通安全運動』における啓発活動

交通安全テント村の実施

日 時 平成24年4月10日(火) 15:00 ~ 16:00
場 所 大田市波根地内国道9号線 **参加者** 約70名

主催者の大田警察署長、大田市交通安全協会長のあいさつの後、JA石見銀山理事より交通安全協会に対しチャイルドシートなど交通安全器材の贈呈がありました。

続いて久手保育園児4名をミニ警察官に任命し、通行車両の運転者に対し啓発物品を配布し、安全運転を呼びかけました。また、本年は若い世代に対する交通安全意識高揚のため30数名農林大学校学生に交通安全運動に携わってもらいました。



車両パレードの実施



日 時 平成24年4月6日(金) 14:00 ~ 15:30
参加者 動員数11名 車両台数6台

大田市内の10支部で構成する大田連合会が車両パレードを実施しました。

大田警察署玄関前において出発式を行った後、パトカーを先頭にのぼり旗を掲げた軽トラック4台と広報車1台が大田市内をパレードし、通行車両や歩行者などに交通安全を呼びかけました。

大田市交通安全決起大会の実施

日 時 平成24年4月6日(金) 10:00 ~ 11:30
場 所 大田市仁摩町馬路地内国道9号線 **参加者** 約100名

主催者の大田市交通対策協議会会長の大田市長などのあいさつの後、仁摩地区交通安全対策協議会会長(大田市交通安全協会副会長)が『交通安全宣言』を読み上げ、交通安全を誓いました。

続いて大田保育園児4名をミニ警察官に任命し、通行車両の運転者に対し啓発物品を配布し安全運転を呼びかけました。また、本年は新たにのぼり旗を掲げての通行車両への啓発も行いました。

通行車両の運転者は、ミニ警察官の制服姿の園児の呼びかけに対し、目を細め安全運転を誓っていました。



自転車マナーアップ推進校の指定式

日時 平成24年4月12日(木) 15:00 ~ 16:00
場所 大田市立第二中学校 体育館 **参加者** 生徒・関係者 計 約320名

今年度は大田第二中学校がモデル校に指定され、全校生徒が参加し指定式が執り行われました。
大田警察署長から生徒代表に指定書が交付され、続いて生徒代表が『誓いの言葉』を読み上げました。次に大田市交通安全協会長から生徒代表にのぼり旗と記念品が贈呈されました。指定式終了後、警察音楽隊による演奏などが行われ、最後に交通課員による交通安全教室が行われました。



高齢者はっらっモデル地区の指定式

日時 平成24年4月9日(月) 11:00 ~ 12:00
場所 大田市 久手まちづくりセンター **参加者** 約50名

今年度は久手支部が高齢者はっらっモデル地区に指定され、関係者が参加して指定式が執り行われました。

大田警察署長のあいさつの後、署長から会長に指定書が交付されました。次に副会長が決意表明をし、続いて高齢者代表が宣誓文を読み上げ交通安全を誓いました。その後、交通係長による交通安全講話があり、最後に車両8台によるパレードを実施しました。



協会報の作成配布

大田市交通安全協会では会報2100部を作成配布し、交通安全活動の紹介や会員募集などについて広報を実施しました。
内容は [こちらをクリック](#) してください。

『秋の全国交通安全運動』における啓発活動

《夜光反射材の啓発活動の実施》

大田市交通安全協会大田連合会では交通安全運動の期間中、市内の2店舗の大型スーパーにおいて、夕方の買い物客に対し、靴に貼付する2種類の夜光反射材150枚を配布し、夜間外出の際には夜光反射材を着用するよう呼びかけました。



《街頭啓発活動の実施》

日 時 平成23年9月29日（木） 7:00 ～ 8:00

場 所 大田市のJR大田市駅等3駅前及び大田市内の3小中学校前

上記場所において、乗降客や通学生に対しチラシや交通安全グッズを配布し、交通安全を呼びかけました。



《交通安全テント村の開設》

日 時 平成23年9月28日（水） 15:00 ～ 16:00

場 所 大田市波根町 『ポプラ』前国道9号線 参加者 67名

大田市交通安全協会は、JA石見銀山と共催による交通安全テント村を開設し、ドライバーに安全運転を呼びかけました。

今回は多くの組織団体の協力を得ました。県立農業大学校生やJAより寄贈を受けたミニ白バイ隊員の制服を着用した波根保育園児も参加し、チラシと農業大学校で栽培したミニトマトなどを約200台の通行車両のドライバーに配布しました。

かわいらしいミニ白バイ隊員姿の園児に対しドライバーは、ほほえんで安全運転を誓っていました。



《市内パトロールの実施》

平成23年9月21日（水）『秋の全国交通安全運動』の初日、警察署並びに関係機関が集まり出発式を行い、続いて市内のパトロールを行いました。

式典は当初、大田警察署玄関前において実施する予定でしたが、台風の影響により屋内での開催に変更されました。

出発式では、大田交通安全協会 副会長、大田警察署長のあいさつの後、参加者代表が出発のあいさつと事故防止活動の決意を發表しました。

式典終了後、パトカーを先頭に、今回は青パト隊が中心となって、大田市内のパトロールと安全運転を呼びかける啓発活動を行いました。



出発式の状況



交通安全協会副会長の挨拶



署を出発する青パト隊

《JA からの交通安全用具の贈呈》

『秋の全国交通安全運動』を前にした平成23年9月14日（水）、JA 石見銀山よりチャイルドシートなどの交通安全用具が寄贈され、大田警察署において関係者による贈呈式を行いました。

＜寄贈品＞

チャイルドシート	10台
懸垂幕	3本
ミニ白バイ隊員制服上下	2着
ミニ白バイ隊員ヘルメット	2個
ミニお巡りさん用制帽	4個

JA 石見銀山の組合長から大田交通安全協会 森崎会長に対し、趣意書と贈呈品の目録が読み上げられ、前記の交通安全用具が贈呈されました。式典に続き、寄贈された懸垂幕の一つが警察署の玄関先に掲げられ披露されました。



目録の贈呈



寄贈を受けた交通安全用品

交通安全等チラシの作成配布

大田市交通安全協会では警察署並びに大田市防犯協力会など共同で交通安全や高齢者を交通事故から守る運動に関する記事を掲載したチラシを作成し、約16,000戸に回覧配布しました。

『大田パトロール9月号』
こちらをクリック→



交通安全マップづくり

大田市交通安全協会川合支部では地区の団体組織と協力して、高齢者による交通安全マップづくりを行いました。

平成23年6月28日、午前9時から午後2時30分まで、川合まちづくりセンターと川合町吉永地区で行われたこの活動には、川合老人会など32名が参加しました。

川合はつらつ事業実行委員会会長あいさつの後、3班に分かれ川合町吉永地区の幹線道路沿いを危険箇所はないか調査して回りました。

午後からは班ごとにマップづくりにかかり、完成したマップを基に調査結果や対策などについて発表、意見交換を行い交通安全意識の高揚を図りました。

